

◇ ◇ IEICE 先端セミナー受講申込受付中のお知らせ ◇ ◇

技術の進歩がますます加速する中、他分野の重要技術を効率的に学ぶことが求められています。当会では、電子情報通信分野の第一人者が講師を務め、最新技術をわかりやすく解説する Webinar 形式の先端セミナーを開講しています。

1 コース全ての講義を受講し、設問をクリアされた受講生に対してはデジタルバッジを付与致します。現在、7つのコースを受講することができます。是非この機会に多くの皆様の受講をお待ちしています。

■生成 AI の応用

近年、大規模言語モデルを始めとした生成 AI が急速に普及している。本セミナーでは、生成 AI の応用に焦点を当て、生成 AI の応用に必要な知識やツールを解説するとともに、応用例として、自動運転、ロボティクス、医療を取り上げ、それぞれの分野における最先端の応用事例を解説する。

第1回	大規模言語モデルの開発と活用における課題	今城健太郎（株式会社 Preferred Networks）
第2回	自動運転 AI と人間との協調	武田一哉（名古屋大学）
第3回	生成 AI のロボティクス応用	河原塚健人（東京大学）
第4回	医療分野における生成 AI の応用	岩澤諄一郎（株式会社 Preferred Networks）

■暗号技術の進化と未来

インターネットを通じて、個人データ、金融取引、ビジネスの機密情報などが常にやり取りされている。これらの情報を保護するための鍵となるのが暗号技術である。暗号技術は、データの機密性、完全性を保証するだけでなく、プライバシー保護や安全な通信、信頼できるデジタル社会の基盤を支えている。コンピュータの性能向上、新たなアルゴリズムの開発、サイバー攻撃の脅威により、暗号技術の革新は加速度的に進んでいる。さらに、量子コンピュータの登場により、セキュリティ意識の変革が求められている。本セミナーでは、暗号技術の基礎をしっかりと学びつつ、最新の技術革新や今後の暗号技術の未来に至るまで、広範な知識を提供する。暗号技術の根本的な原理から、現代のセキュリティの要となるプロトコル、更には次世代の技術に至るまで、暗号技術の進化の全体像を体系的に理解する。

第1回	暗号の基礎と現代の暗号技術	伊豆哲也（富士通株式会社）
第2回	TLS の仕組みと実践	須賀祐治（株式会社インターネットイニシアティブ）
第3回	高機能暗号：データの保護と高度利活用を両立する技術	花岡悟一郎（産業技術総合研究所）
第4回	量子コンピュータと耐量子計算機暗号	高木 剛（東京大学）

■ニューロモルフィック・リザバーコンピューティングの基礎と応用技術

ニューロモルフィック・リザバーコンピューティングの基礎と最新の応用技術について解説する。前半では、スパイクングニューラルネットワークやリザバーコンピューティングの基礎について述べる。後半では、光やナノ材料を用いた実装方法や最先端技術について解説する。

第1回	スパイクングニューラルネットワークの基礎	小林亮太（東京大学）
第2回	リザバーコンピューティングの基礎	田中剛平（名古屋工業大学）
第3回	光リザバーコンピューティング	砂田 哲（金沢大学）
第4回	ナノ材料のランダムネットワークを用いた物理リザバーコンピューティングとロボット応用	田中啓文（九州工業大学）

その他, 下記コースも開講中です.

- 6G に向けた 3GPP の無線アクセスの標準化動向
- 次世代半導体の技術動向
- AI 社会実装の最先端と技術動向
- 量子コンピュータと量子情報通信入門

受講料 (各コース共通 / (税込み))

区 分	料 金	区 分	料 金	区 分	料 金
一般 (正 員)	13,420 円	学生 (学生員)	3,520 円	維持員企業所属 (4 口以上)	12,100 円
(非会員)	26,620 円	(非会員)	5,170 円	維持員企業所属 (3 口以下)	12,980 円

お申込みはこちら▼

https://www.ieice.org/jpn_r/activities/advanced_seminar.html

問い合わせ先: 電子情報通信学会会員サービス課 member@ieice.org

